



きょうも元気に！

日本共産党 京都市会議員

《活動報告News》

河合ようこです。

NO.253

2017年 3月 26日

日本共産党西地区委員会

311-4704

西京生活相談所

392-3546

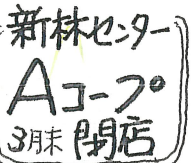
ホームページ

http://kawai-yoko.jp/



「お店が来るんで話をもっと、Aコープの買物客に話をもっと、光が見えてくる感じでした。18日にAコープの買物客に話をもっと、Aコープの買物客に話をもっと、

新林センターのAコープ洛西大枝店が今月末で閉店と公表されて、「なくなったら困る」という住民の声をお店の前でたくさん聞きました。私は、成宮府議と共に13日に洛西担当区長に、「住民が買い物に困ることがないように、市として対策を講じてほしい」と申し入れました。17日にはJA京都（Aコープの土地・建物の所有者）に、「住民は新たな店がすぐに来ることを願っていることを伝え、状況を伺いました。市会で都市計画局から「JAさんは同業種の店に入ってもらいたいと、探しておられる」と答弁があったが、JAの担当者から「できる限りすみやかに新たなスペースが入るよう努力している」という話をきいて、光が見えてくる感じでした。18日にAコープの買物客に話をもっと、

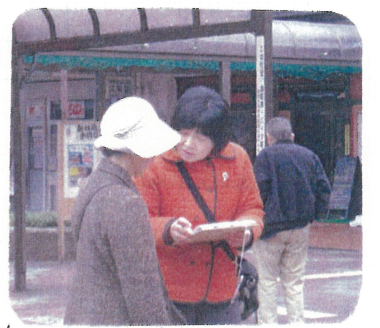


買い物に困らないように... 京都市とJA京都に申し入れ、市会で追及

「し」という話をされる方もありました。

市会・予算委員会、常任委員会でも対策求める

14日15日に行われた予算委員会の市長総括質疑や16日の経済総務委員会、まちづくり委員会、教育福祉委員会でも日本共産党議員団の各委員がAコープ閉店に伴う対策・支援を求めました。ここでは、Aコープの店長から聞いた高齢男性の「（Aコープ閉店）わしに死ぬということか」という言葉も紹介し、住民にとって死活問題だ」と質し、住民が買い物に困ることがないように、市の責任で対策・支援を」と求めました。副市長は「小売店は大切。現場の声を聞いて精一杯支援していく」と答えました。産業観光局長は、次の店の出店にあたり「すみやかに手続きが進むよう市として協力したい」と旨の答弁をしましたが、私は「Aコープが自宅への配達サービス等をされているこ



「Aコープ前で話をきく。「ラクセーヌや高島屋までは、毎日行けない」「これは歩いてこれるから」「医者に行ったついでに寄れる」などの声

とを紹介し、福祉的な役割を果たしているサービスへの行政の支援と、現在でも買い物に困っておられる地域はないか、実態を把握し対策すべきと求めました。他党からもAコープ閉店で困ることがないように求める質問がされました。Aコープ閉店による影響の大きさと住民の声が動かれています。

保育所入所できなかった！ 深刻な待機児問題

2月末に決定通知が送られた第一次の保育所入所判定。「上の子が入っている保育園を希望したけど、入れなかった」という相談がありました。西京区だけでなく、他の行政区でも起こっています。第二次の募集で入れる所を調整すると、行政は言いますが、兄弟が別の保育園に通わなければならぬ親子の大変さをどう



3月18日 消費税をなくす会主催の学習会に参加。講師は梅村さえこ衆議院議員。「消費税増税を許さないやかんばらう！」

3月21日 閣議決定?! 「共謀罪」を許さない!



3月19日 安保法制・共謀罪 NO! 市役所前集会にて

考えているのでしょうか。園長先生も心を痛めておられます。「これでは子育て支援にならずに、根本的には保育園が足りないと、東京都北区では公立保育所を増やし、保育士も募集して対応しています。京都市は公立保育所を廃止の方向です。行政の姿勢が問われています。（※保育園入所のこと等での困りごと等、お寄せ下さい）」

くらし・子育て...など、何でもご相談ください。Tel392-3546

西京生活相談所まで。 (市バス バス停「権原水築町」西)